

# 新築住宅内覧会

3/27(sat) 28(sun)

OPEN 10:00

CLOSE 18:00

小松市

詳しくはWEBで

内覧会会場



http://www.zuiun.jp ※現場近くの案内看板を目印にお越しくださいませ。

家具と雑貨のお店 インテリアショップ ズイウン

展示家具・雑貨全品  
特別価格で販売中

28th ANNIVERSARY

# 周年祭

今年の三月三日に三周年を迎えたzuiunですが、また気持ちを新たに、一同素敵な家造りに励む所存でおります。

さて今回は三月八日から申請がスタートした住宅エコポイントにちなんで、エコについて考えてみたいと思います。

そもそも、この住宅エコポイントとは何ぞや？という方が多いかと思いますが。簡単にご説明すると、地球温暖化対策の推進及び経済の活性化を図ることを目的として、新築・リフォーム工事をされた方にポイントを発行し様々な商品への交換や追加工事の費用に充当することができるといいます。

新築の場合、政府が定めたエコ基準に達している住宅は、一律三十万円相当のポイントが、リフォームの場合は、窓の断熱改修、もしくは床・壁・天井の断熱工事のいずれかの工事と、バリアフリー工事を行った場合、それぞれの工事にポイントが定められており、実施した工事のポイントの合計分のポイントがつかえます(最高三十万円ポイントまで)。

要は、住宅の断熱性能や気密性能を良くして冷房の使用量を減らしたり、効率の良い照明や給湯器などの設備の採用によってエネルギー消費を抑えることでエコに繋げ、かつ補助金をだして経済の活性化に繋げようということなのです。

この度内覧会を開催いたします物件も、断熱性・気密性の面で高性能を備えた住宅となっております。実際、冬場に行なった見学会の時も、まだ柱がむき出しになっているような状態にも関わらず、対応帖数に満たないストーブが各階1台ずつで十分な暖かさを確保し、その性能を如何なく発揮しておりました。無駄なエネルギーの消費を抑えることができたと思いますし、日々進歩する技術の一端を感じることができたと言えます。

このように、最近、家としての性能は良くなっているのですが、それに甘んじて、生活の中でできる工夫というものを怠らないようにしたいものです。

## エコココのある家 ZUIUN便り Vol.12

古典文学の徒然草に「家のつくりは夏を旨とすべし、冬はいかなるところにも住まる。夏の悪しき家は耐えがたきなり」という有名な一節があります。これは、冬の寒さはどうにもなるが、高温多湿の日本の夏は耐え難いので、家を建てる時は暑さ対策をすることが大事である、ということを言わんとしています。実際このような気候に耐えるため、伝統的な日本の家屋は、開放的に作られ、障子や襖、欄間といった風や自然に対して調節可能なものが活用されてきました。

そもそも、これらは文明も今は雲泥の差がある時代の話。使用するエネルギーは0なんですよね。前述のエコポイントの考え方はエネルギーを使用するのが前提で、使用量を減らすという話ですから、根っこの部分で違います。とはいえ、これだけ技術が進み、便利さが染み付いてしまった世の中で、標準を昔の日本にあわせることが出来る人は、よほど筋金入りのエコロジストか節約家でしょう。

ですが、そこに開けたくなるような窓があったとしたらどうでしょう？外部から視界が程よく見えられる位置に植栽が施され、夏でも庭に過度の影が落ち、そんな様子がりビングのソファから眺めることができる。その庭の対角にも窓があつてそこを開ければ風が通る。となれば、人は自然とエアコンを止めて窓を開けるのではないのでしょうか。すると努力なくしてエコに貢献しているということになります。また、家自体を長持ちさせることにつながります。そして何より、気持ちが良い。これは、私たちが目指す「愛着の持てる家」にもつながる要素になると思います。風や光等の自然を考慮する事は設計をする上で特別なことではありませんが、積み重ねていくことで居心地のよい家にとり着く重要なポイントであると考えており、今後もzuiunの家づくりにおいで大切にしていきたいと思っています。

エコの気持ちがある家IIエコココのある家とは、地球とお財布と家と人への配慮がなされた、やさしさの詰まった家、なのかもしれませんね。



風鈴  
姿形のない風を、音で感じさせてくれるアイテム。とても風情があります。zuiunのshopでは、現代住宅にも合うシンプルなデザインの風鈴を扱っております。



開放性のある開口部からシンボルツリーが見えるダイニング。新緑の頃には窓を開けて自然を感じる…。最高の贅沢です。